

目次

〈表紙題字 元広島大学教授 竹澤 丹一先生〉

〈きらめき—児童の活動から—〉

おもかえ遠足	第1学年
仲間と団結しやりきった！三滝宿泊学習	第3学年
旅の学習から	第6学年
養護学級「遊びの指導」の時間から	養護学級
～2・3人組で公園へいこう！～	

〈巻頭言〉

アンパンマンの作者に学ぶ	今 崎 英 明…5
--------------------	-----------

〈論説〉

子どもの「学び」と「育ち」に大人はどう向き合うか	林 孝…6
--------------------------------	-------

〈学習のヒント〉

◆国語科

漢字のはなしⅢ	羽 場 邦 子…10
教えて、アメリカの言葉の学習 ～読む学習編～	竹 森 文 美…12
今、改めて考える「言葉の意味」	谷 栄 次…14
—映画「舟を編む」を見て—	

◆社会科

教育水準って学力！？—フィンランドの場合—	新 谷 和 幸…16
原爆ドーム～見慣れた光景に歴史あり～	中 丸 敏 至…18

◆算数科

もっとなしが食べたいのに！（なしの箱づめのデザイン）	松 島 充…20
算数マジック～十進法と2進法～	番 本 充 俊…22
100	熊 野 めぐみ…24
数感覚を豊かにしよう～買い物に行こう～	川 口 知佐子…26

◆理科

そうだ種まきをしよう	土 井 徹…28
虫に食われた葉の不思議	中 山 貴 司…30
「理科」って何だろう？	福 地 孝 倫…32

◆生活科

伝承遊びを楽しもう！—けん玉—	石 田 浩 子…34
-----------------------	------------

◆音楽科

♪ あんたがた どこさ？ ♪	圓城寺 佐知子…36
----------------------	------------

◆図画工作科

「未完の美」を味わう感性を	天 野 紳 一…38
眠れる森の美術	島 谷 あゆみ…40

◆体育科

遊びの中で「投げる感覚」を身に付ける	梅 野 栄 治…42
♪心と体をほぐしましょう♪	八反田 耕 士…44
なわとびに挑戦！！	埴 本 美 紀…46

◆特別支援教育

直 感	梶 山 雅 司…48
楽しくおいしいおやつ作り	城 一 樹…50
—ジャガイモチーズおやきの作り方—	
日常のコミュニケーションを見直す視点	高 橋 望…52
話を聞いてから…	高 阪 英 徳…54
—6つのきのたね—	

〈保健室の窓から〉

「お口ぼかん」の人、いませんか？	後 藤 美由紀…56
------------------------	------------

〈給食室の窓から〉

砂糖の科学	天 野 聖 子…58
-------------	------------

〈生活・心の扉〉

児童会活動で心を育てるⅥ	羽 場 邦 子…60
—児童会目標と登下校三か条—	

〈教育随想〉

バレーボールと友に	高 阪 英 徳…61
-----------------	------------

漢字のはなしⅢ

羽 場 邦 子

前号では、漢字の読み方の話をしました。今回は、平仮名・片仮名と漢字のつながりの話をします。みなさんは、平仮名や片仮名はどのようにしてできたかを知っていますか。この答えを探っていくことにしましょう。

【平仮名・片仮名はどのようにしてできたかという話】

昔、(いつ頃でしょうね) 中国から漢字が伝わってきました。漢字が平仮名や片仮名に変身したのです。

右の文字を見てください。

「あ」は「安」の草書体を簡略化したものです。書き順をよく見てください。「わかんむり」を先に書き、その後、上の点と「女」を直結して書かれています。「あ」は、この筆順でくずし書きされた草書の「わかんむり」を下に回さず、横画とした形です。このように、平仮名には、今の書写で習うのとは違う書き順で書いてきたものもあります。

「い」は、「以」の草書体をさらに簡略にしたものです。今は、「い」と一画目を長く書きますが、表1のような成り立ちから、もとは二画目を大きく書くことが多かったそうです。

「う」「え」「お」の平仮名の成り立ちもよく見てください。もう分かりましたね。

次に、漢字と平仮名の読み方のつながりを考えてみましょう。「安」は音読み「アン」の上だけを用いて「ア」となっています。漢字としての読み方が二音以上の場合、初めの音だけが、仮名としての読み方となります。(例: 計「ケイ」→「け」)「以」は「イ」で「い」ですね。「宇」は「ウ」で「う」です。では、「衣」はどうでしょう。音読みでは、「イ、エ」の二通りの読み方がありますね。「衣」は「イ」ではなく「え」を「エ」と読むようになりました。「於」は「オ」で「お」ですね。

片仮名の成り立ちはどうでしょう。次のページの表2を見てください。

表1 平仮名の成り立ち

於	衣	宇	以	安
於	衣	宇	以	安
お	あ	う	い	あ
お	え	う	い	あ

「ア」は「阿」からできました。「阿」の左側の「こざとへん」の縦画を片仮名の「ノ」

のように曲げて「ア」になりました。「イ」は、「伊」の「にんべん」が片仮名の「イ」になりました。「ウ」は、「宇」の「うかんむり」を少し長くして片仮名の「ウ」になりました。「エ」は、「江」の右側を用いて片仮名の「エ」になりました。「オ」は、「おたへん」を「オ」と書きました。【平仮名・片仮名のクイズをしましょう】

下の問題を読んでみてください。漢字の部分を平仮名や片仮名で表してみましょう。さあ、チャレンジしてみましょう。

できたら、羽場まで持ってきてください。待っていますよ。

表2 片仮名の成り立ち

於	江	宇	伊	阿
於		ハ		阿
オ	エ	ウ	イ	ア

第1問

以呂波仁保へ止 知利奴る遠 和加与太れ曾 川称奈ら武

第2問

比止の礼幾之は 安良末利 ぎんがうちゅうの 末太計ば

第3問

伊千ゴの 阿伊須久利一牟と 礼毛ノ 阿伊須久利一牟を たべた。

第4問

安末以 安末以 かぶに 奈礼。於於幾奈 於於幾奈 かぶに 奈礼。

【参考文献】

盛岡隆著、『かなの成り立ち事典』教育出版、2006

町田和彦監修、『日本の文字 漢字からひらがなができるまで』ポプラ社、2011

下村昇編、『下村式小学国語学習辞典』偕成社、2007